



施策 2-4 観光の振興

【現状と課題】

近年の本町を訪れている観光客数は、年間100万人を数えており、今後も観光客をはじめとする交流人口を拡大させ、地域経済を活性化することが重要となります。

本町には、優れた自然景観や全国に誇れる水産物や農産物などの質の高い地域資源が豊富にあり、全国的に通用するブランドとなる可能性を大きく秘めています。この地域資源を最大限に活用し、交流人口の拡大につながる事業を展開していくことが、今後必要となります。

現在、各地では観光業者と自治体の連携による観光客誘致活動が盛んに行われており、平成20年に開催される「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」を好機として、観光面から交流人口の拡大に積極的に取組む必要があります。

そのためには、観光関係者と自治体の連携は勿論のこと、農林水産業、商工業関係者等の各産業間とも幅広く連携し、地域における観光資源を磨き上げるとともに、観光客の受入態勢を整備し、本町ならではの魅力あるサービスを提供することが重要となります。

今、多くの消費者は「安全・安心」・「健康」・「本物」を志向し、また都市住民の間では「癒し」・「やすらぎ」を求めるニーズが高まっています。これをビジネスチャンスと捉え、個性的な発想によって、地域資源の付加価値を高めつつ他地域との差別化を図ることが重要です。また、地域の素晴らしいところの人々に味わってもらい、それを様々な経済効果に結びつけていくためには、今後とも観光協会等関係団体との連携強化を図りながら、新たな観光戦略を機動的に展開できる確固とした体制づくりも重要な課題となっています。

【基本事業】

2-4-1 観光資源の整備・活用

南三陸の代表的な景勝地である神割崎や田東山などの観光施設の適正な管理を図るとともに、地域の観光資源を発掘することにより、観光客の増加や地域経済への波及効果を高めます。

2-4-2 観光産業・関連事業の振興と育成

観光は、農林水産、商工業、物産など産業全般にわたる裾野の広い経済活動であることから、地域の雇用確保の場としても、ますますその重要性が増してきています。そのため、柔軟かつ機能的に活動できるよう観光協会との連携を強化するとともに、観光産業・関連事業の振興と育成に努め、地域の観光振興を図ります。

2-4-3 観光客誘致活動・情報発信体系の整備

及び強化

観光客が本町エリアで快適に過ごすため、観光情報提供体系の整備・充実を図ります。また「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」を契機として、パンフレットやホームページなどの各種媒体を活用した積極的な観光キャンペーンを展開することにより、「観光のまち 南三陸」という観光ブランドの確立につなげていきます。

2-4-4 観光イベントの展開

町民にレクリエーションの場を提供するとともに、観光客を誘致するための様々な観光物産イベントに取り組むことにより、交流人口の増加と地域経済の活性化を図っていきます。

基本事業	主要事務事業
観光資源の整備・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・神割崎及び田東山等観光推進事業 ・歴史、文化財活用事業 ・海洋レクリエーションエリア活用事業 ・街並み景観づくり整備促進事業
観光産業・関連事業の振興と育成	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会運営強化事業 ・観光関係団体育成事業 ・観光物産関係者の人材育成事業 ・観光施設、産業関連事業者ネットワーク形成事業 ・観光ゾーン間ネットワーク形成事業
観光客誘致活動・情報発信体系の整備及び強化	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台・宮城デスティネーションキャンペーンに向けての受入態勢整備及び観光客誘致活動 ・観光案内板整備事業 ・総合観光案内所創設事業 ・ボランティアガイド育成事業 ・ガイドブック等作成事業 ・観光キャンペーン推進事業 ・紹介ビデオの作成、ホームページの充実 ・情報発信ネットワーク形成事業 ・道の駅整備検討
観光イベントの展開	<ul style="list-style-type: none"> ・志津川湾夏まつり及び歌津恋来い浜まつりの開催 ・潮騒まつり及び田東山つじ祭り、産業フェア等観光物産イベントの開催 ・町内外の観光物産展の開催及び参加 ・新たな観光イベントの創設

